

やる気発生装置

高校(1,2年)						高校入試
京都工学院	堀川	紫野	鴨沂	桃山	北稜	公立中期
2/20~	2/25~	2/27~	3/3~	3/3~	3/4~	3/7
学年末考査	学年末考査	学年末考査	学年末考査	学年末考査	学年末考査	
3日目	1日目	あと2日	あと6日	あと6日	あと7日	あと10日

国公立2次試験の朝、変化と継承

連休明けのきょう25日、国公立大学の多くで2次試験が行われる日です。きのう京都市街を真っ白に染めた雪もほぼ姿を消して、交通の不安はなさそうです。当塾では今日の受験生はいませんので、いくぶん気楽に迎えられる朝となりました。少し早く目が覚めて、真剣勝負の受験生には悪いですが、野次馬気分にて近くの国立大学を見に行ってきました。

まだ暗い大学周辺、人気は少ないですが、なかにはスマホであちこち写真を撮りつつ歩き回っている人もいました。同好の見物人ですかね。この大学では、誰が作っているのか入試日の朝には、胸像ふうの制作物が置かれるのが恒例になっています。もう30年くらいは続いているのかな。その年ごとに謎の制作者が趣向をこらしているんですが、なにやら増えていて、僕が確認しただけで6体もありました。大学当局にとっては異物でしょうから、今日のうちにも撤去されると思います。この大学周辺の道は、入試シーズンともなればサークル勧誘やら政治的主張やら何かしらのメッセージを込めた立て看板で埋め尽くされるものでしたが、それらはみごとに姿を消して、キレイな石垣が続く道路になっていました。これも当局の規制が厳しくなったんだろうなと感じます。確かにスッキリ美しい景色になり、まじめに勉強してきた受験生達にとっては落ち着くのかも知れませんが、若い人達の主張を込めた雑多なものたちが視界から失われ、ネット上をざわめくだけのものになるとしたら寂しい気もします。まあ、学生さんたちが旧来通りの立て看板を作っても、何十年前からある形式を踏襲しているにすぎないのだとも言えますが…。

僕はどうも保守的趣向の人間ですので、昔からあるものを途切れず継承していくことに価値を感じるんですが、次世代の人達が既存のものを打ち破ろうとするたくましい反骨の芽をもつことも大事で、その力があってこそ伝統が守られるものだとも思います。そんなことを消えた立て看板と増えたO先生像に考えさせられつつ、夜明けの大学をあとにしました。



誰が作ったのか大学草創期の功勞者であるO先生の胸像をもとにした作品が並ぶ一方、これも入試日の風物詩であった立て看板は姿を消しました。ともあれ受験生諸君の健闘をお祈りします。

当面の教室予定

2/25(火)~2/28(金)

16:00~22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。

明日2/26(水)のテスト

学校/学年	教科	
京都工学院	1	公共/化学
堀川	1	言文/数A